

### 「世界遺産学習全国サミット」を終えて(2)

10月24日(土)に開催された「第6回世界遺産学習全国サミットinおおむた」で、午後から行われた分科会の概要について報告します。

#### 【第1分科会】

- 大牟田市立天領小学校(世界遺産三池港を起点にした地域学習を通して)  
校区にある三池港が登録されたことで、三池港について誇りをもったり、後生に伝えていく責任の重さを感じたりするなど、子ども達の意識が変化し始めた。
- 和歌山県橋本市教育委員会学校教育課(人が育ち合う 共育のまちづくり)  
学校が地域に根ざし始め、お互いが育ち合うコミュニティの場になり始めている。学校だけで解決できない面を地域が支援をしてくれるようになった。

#### 【第2分科会】

- 静岡県伊豆の国市長岡南小(地域に愛着と誇りをもつ子どもの育成)  
世界遺産に登録された葦山反射炉を体育や図画工作など、教材と結びつけ取り組んだことで、子ども達が意欲的に活動した。
- 太宰府市教育委員会(「ふるさと太宰府」を愛する子どもを育てるために)  
太宰府の歴史と文化について、小中の連携を図りながら学習に取り組んだことで、太宰府に愛着を持つきっかけとなった。

#### 【第3分科会】

- 熊本県荒尾市万田小学校(地域に学び、地域を拓く力の育成を目指して)  
万田坑について調べる学習の充実を図るとともに、学校行事に万田坑を意識的に絡めることで、「地域の宝・万田坑」が「自分達の宝」になっていった。
- 宮城県気仙沼市立鹿折小学校(震災からの出発in気仙沼)  
地域や人との関わりを大切に学習を進めるとともに、東日本大震災後の命を守る災害教育は、年間指導計画を作成し充実させてきた。

#### 【第4分科会】

- 東京都多摩市立多摩第一小学校(学校全体で取り組むESDの実践事例)  
①問題の発見、気づき②テーマの設定③活動の計画づくり④調査活動⑤まとめ⑥発表や発信の学習の流れを繰り返し、問題解決能力の向上を図ってきた。
- 鹿児島県屋久島町立神山小学校(屋久島型ESDの授業を通して)  
「E:いいね、S:すごいね、D:どうする」を合い言葉に、屋久島の自然や環境の素晴らしさに気づき、守るためにはどうするか考える学習を展開した。

#### 【第5分科会】

- 宮崎県綾町立綾中学校(「何のために」を明確にしたチームで取り組むUSの創造)  
自然への探究(1年生)、人への探究(1~3年生)、自分への探究(3年生)を核とする学校行事と結びつけ学習を進めている。
- 奈良県立法隆寺国際高等学校(ホールスクール・プロジェクト構想による世界遺産教育)  
ユネスコスクールの活動目的2つに、高校独自の目的を設け、総合英語科・普通科・歴史文化科が分担し、目的の実現を目指してきた。

### 大牟田市立吉野小学校の実践

#### 「吉野の宝 桜を通した町づくり」を通して

吉野小学校の5年生は、校区の宝である桜を通した町づくりに取り組んでいます。6年生から活動を引き継ぎ、桜に込められた願いや歴史を調べていく中で、子ども達は地域の一人としての自覚と関心を高めていきました。

本年度は、夏祭りでのPRを兼ねたオブジェ作成や、せんべい販売で得た資金での桜の植樹、挨拶運動や美化活動に取り組みました。地域の方々も活動を応援して下さるようになり、多くの思いを共有しながらそれぞれの立場で町づくりに取り組んでいます。ふるさと吉野に誇りを持ち、よりよい地域のために進んで行動する子どもの姿を求めて、今後も取り組みを継続・発展させていきます。



### 大牟田市立手鎌小学校の実践

#### 「がたいね踊り」郷土の伝統を調べようの学習を通して

手鎌小学校の5年生は、郷土の伝統を調べよう「がたいね踊り」というテーマで、地域の伝統、大牟田の宝もの「がたいね踊り」に触れ、郷土伝統のよさをみんなに伝える活動に取り組んでいます。まず、地域の「がたいね保存会」の方から、「がたいね踊り」や「黒崎の歴史」についての紙芝居や踊りを実際に見せていただきました。「がたいね踊り」は、干拓工事の時にがんばった女性(がたいねさん)の作業唄でユーモアたっぷりに表現されています。

子どもたちは、手鎌地区の人々がたくさん集まる「ふれあい文化祭」で、その「がたいね踊り」を発表しました。

